

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立今泉小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成29年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成29年4月18日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A 99人 国語B 99人

② 算数A 99人 算数B 99人

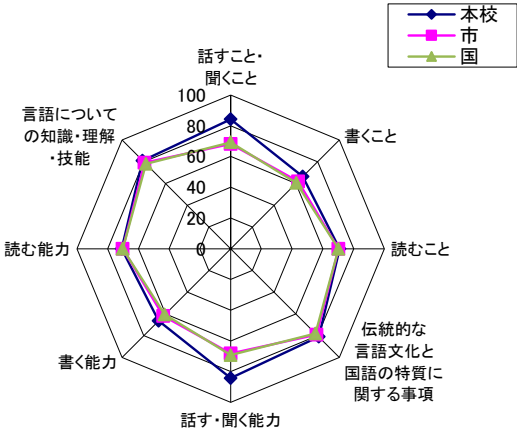
5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立今泉小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

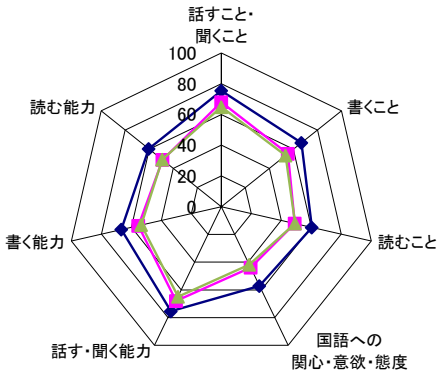
★本年度の国、市と本校の状況
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	84.2	68.2	69.2
	書くこと	66.3	62.0	60.6
	読むこと	70.9	70.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.1	79.1	78.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	84.2	68.2	69.2
	書く能力	66.3	62.0	60.6
	読む能力	70.9	70.2	70.2
	言語についての知識・理解・技能	81.1	79.1	78.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	75.4	68.0	64.9
	書くこと	66.7	55.3	53.4
	読むこと	60.4	49.0	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	57.2	43.9	41.7
	話す・聞く能力	75.4	68.0	64.9
	書く能力	66.7	55.3	53.4
	読む能力	60.4	49.0	49.2
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

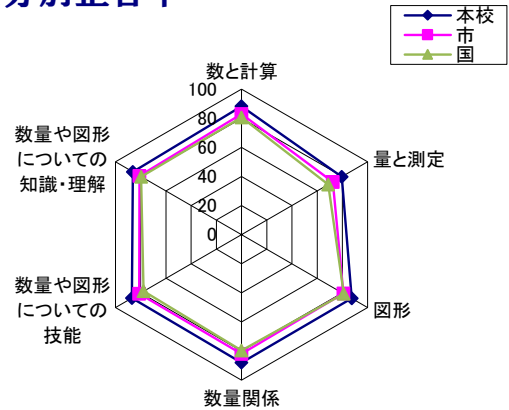
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○Aテスト[主として知識(以下省略)]の平均正答率は84.2%で、全国平均より15.0ポイント高い。また、Bテスト[主として活用(以下省略)]の平均正答率は75.4%で全国平均より10.5ポイント高い。 ○Bテストの目的や応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを記述する設問では、全国平均よりも13.7ポイント高い。	・自分の意見や考えを述べたり、集中して相手の話を聞いたりする様子が、国語の時間や会話科を中心にみられる。どの教科においても話す聞く習慣が身に付くよう、今後も継続して指導していく。
書くこと	○Aテストの平均正答率は66.3%で、全国平均より5.7ポイント高い。また、Bテストの平均正答率は66.7%と全国平均より13.3ポイント高い。 ○Bテストの目的や意図に応じ、必要な内容を整理して記述する設問では、全国平均より17.5ポイント高い。	・テーマに沿って、文章から分かったことや疑問に思ったことをまとめて書く機会を多く設定するとともに、場に応じた適切な言葉を使って文章を書く力を高めさせる。 ・国語の時間に限らず、自主学習や日記等、日常的な場面でも自分の思いや考えを書く機会を設ける。
読むこと	○●Aテストの平均正答率は、70.9%で、全国平均より0.7ポイント高い。また、Bテストでは、60.4%と全国平均より11.2ポイント高い。しかし、Aテストにおいて、他の領域と比べると全国平均正答率との差は小さいといえる。 ●Aテストの俳句の情景を捉える設問では、全国平均を4.4ポイント下回り、課題があると言える。	・授業で扱っている文章と同じ作者や同じテーマの作品を数多く紹介するなど、多くの作品に触れさせることで、登場人物の心情に沿って読み深められるようにする。 ・物語文では、登場人物に関する叙述を正確に捉えさせたり、関係性や心情、場面の変化を表す言葉に着目させたりすることで、主題を読み取れるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○Aテストの平均正答率は81.1%で、全国平均より3.1ポイント高い。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く(第四学年)設問では、全国平均より8.4ポイント低い。	・新出漢字を丁寧に指導するとともに、漢字ドリルを活用した繰り返し練習で定着を図る。 ・新出漢字だけでなく、既習漢字についても繰り返し練習させることで、定着を図る。

宇都宮市立今泉小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

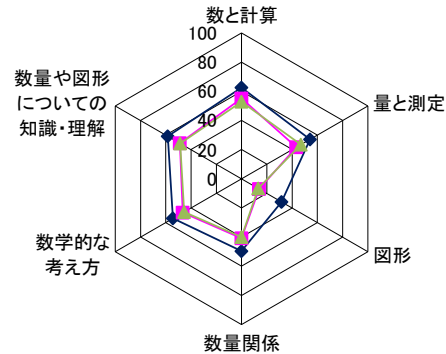
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	88.2	82.9	80.6
	量と測定	79.5	72.5	68.8
	図形	87.4	80.8	81.1
	数量関係	88.0	81.9	79.6
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	87.0	81.2	77.7
	数量や図形についての知識・理解	86.3	80.9	79.7



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	62.5	55.1	52.8
	量と測定	54.2	43.4	47.0
	図形	31.6	13.8	13.2
	数量関係	49.6	40.8	40.0
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	54.4	46.5	45.4
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解	58.4	48.8	48.6



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○Aテスト[主として知識(以下省略)]の設問別平均正答率、Bテスト[主として活用(以下省略)]の設問別平均正答率共に全て全国平均を上回っている。 ●Bテストの示された考え方を活用して考える問題では、正答率が38.9%と課題がある。また、示された資料から必要な情報を選び、求め方と答えを記述する問題では、正答率が48.4%と課題がある。	・記述式の問題では、何が問われているのか、資料のどの部分に必要な情報があるのか意識させるようにする。 ・問題文から得られる情報を整理し、立式する考え方に慣れることができるよう、文章問題に取り組む際の意識付けを行う。
量と測定	○Aテストの設問別平均正答率、Bテストの設問別平均正答率共に全て全国平均を上回っている。 ●Bテストの示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述する問題では、全国平均正答率を9.4ポイント上回っているものの、正答率が28.4%と課題がある。また、無回答率も11.6%となっている。	・平均の求め方の定着を図るとともに、その考え方の中心的な考え方に注目させる。また、文章題では文章中に与えられた数字が何を表しているのかを整理できるようにして、どのように活用して答えを導けるのか考えさせるようにする。
図形	○Aテストの設問別平均正答率、Bテストの設問別平均正答率共に全て全国平均を上回っている。 ●Bテスト基準量と割合を基に、身近なものと置き換えて比較量を判断し、その理由を説明する記述式の問題では、正答率が31.6%と課題がある。	・日常生活の中で、算数が活用できるような場面を想起させたり、応用できそうなところを見つけ、身近なところでも算数の力が使えることを意識させていく。 ・考えを伝え合う場面を設定することで相手意識を高め、他者に説明する際に必要な要素を漏らさずに伝えることに慣れさせる。
数量関係	○Aテストの設問別平均正答率、Bテストの設問別平均正答率共に全て全国平均を上回っている。 ●Bテストの割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶ問題では、正答率が36.8%と課題がある。	・百分率や歩合といった割合の判別やその値の関係を確認し、割合を含んだ問題を取り組ませていきたい。 ・社会科や理科など、統計資料を扱う場面においてグラフの特性に目を向けさせ、グラフを活用する力を定着させたい。

宇都宮市立今泉小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」の質問では、肯定的回答率が93.9%。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問では、肯定回答率が95.0%と全国の平均を6.1ポイント、9ポイント上回っている。児童は学校生活の中で、友達や教師とともに生活することの満足感が高いと思われる。これからも、児童の学校生活が充実し、仲間と共に成長することのできるような環境づくりに努めていきたい。

○「5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか」の質問では、肯定的回答率が98%であった。また、「5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」の質問では、89.9%と全国の平均を13.7ポイント上回っている。授業において、目的意識を持って学習活動に参加しその結果を振り返り自らの成長につなげるという学習の流れの定着が見られる。今後も学習を通して児童が自らの変化(成長)を自覚し、自立して学習していくために必要な記録がとれるようにノート指導していきたい。

○「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の質問では、肯定的回答率が99%であった。他者を尊重する意識が児童の中に定着していることがうかがえる。また、「友達と話し合うとき、友達の考えを受けて止めて、自分の考えを持つことができますか」の質問では、本校の肯定的回答率が90.9%と全国の平均を5.4ポイント上回っている。友達の発言を最後まで聞き受け止めることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。互いに考えを共有することでそれぞれが自分の考えに自信を持ち、学習意欲が高めるといふ状況が生まれると思われる。今後も学び合う雰囲気や大切に、自分の考えが持つことができる環境を育んでいきたい。

●「家で、学校の授業の予習をしていますか」の質問への肯定回答率が56.6%で全国の平均を15.6ポイント上回っている。しかし、「家で、学校の授業の復習をしていますか」の質問への肯定回答率は54.6%で、全国の平均を0.8ポイント上回るにとどまっている。学習の定着を図るために、振り返り学習を行う大切さを伝えるとともに声掛けを行ってきたい。

●「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」の質問への肯定的回答率は38.4%である。これは全国の平均をわずかが下回っている。また、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」の質問への肯定的回答率は、59.6%であった。地域の行事を通して地域とのつながりが密になるよう地域の行事等の情報を各種便りを通じて提供していきたい。

宇都宮市立今泉小学校（第6学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
児童の学習に継続性を生み出すことで学習内容の獲得、深化、統合を促し、確かな力を育む。	・授業における【目標(めあて・ねらい)】の提示と書く活動を伴う【振り返り】の実施。	・【目標(めあて・ねらい)】の提示に対する肯定的回答率は9.8ポイント上回り、【振り返り】の実施に対する肯定的回答率は13.7ポイント上回っている。
	・各目が設定した【目標(めあて・ねらい)】に従った自主学習への取り組みへの支援。	・「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」への肯定的回答率が12.2ポイント上回っている。